科学館の
コレクション
137

電気科学館の「透明人間の部屋」製作仕様書 part2

資料登録番号
1994-0870

うちゅう2025年5月の「科学館のコレクション」にて、大阪市立電気科学館の展示「透明人間の部屋」についての製作仕様書を紹介しました。今回は、本仕様書の内容をもう少し掘り下げて紹介します。



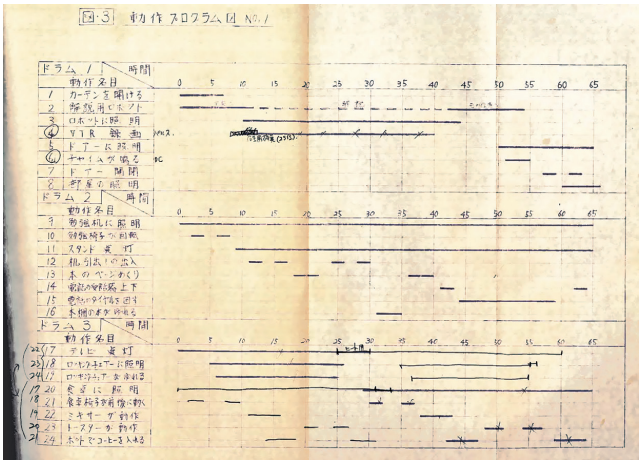
写真1.「透明人間の部屋」

この製作仕様書では、使用する家電製品の型番などが指定されていて、それらの機器をどの順番でどのように動作させるかのプログラムを、回転ドラム1 ～ 5に分けて制御していたことが分かります。

写真2はドラム1 ～ 3の動作プログラムと秒数が記載された図で、例えばドラム1では前面のカーテンを開け、解説用ロボットが部屋の隅から中央に移動し、スポットライトが点いて展示の主旨を説明した後、透明人間の紹介、また元の位置に戻るまでを約55秒で行う命令になっています。

筆者も幼少のころ、手すりにかじりつくように何度も見ていましたが、忘れている部分もたくさんありました。

この続きはまた次回の記事で紹介することにしましょう。


写真２．動作プログラム図 No.1

西野　藍子（科学館学芸員）

大阪市立科学館では、化学・物理・天文学・科学技術に関連した資料を収集しています